

会員の声



仕事と趣味

明田 眞美 (安井)

定年退職をして、この自然豊かな京丹波町に来ました。入会して、たくさんの人達と出会え知人も増えました。

昨年の夏は、野菜の収穫の仕事で、早朝から汗を流しながらの仕事で大変でしたが、地域の情報など教えてもらい楽しく仕事を終えることができました。

いつまでも、シルバー人材センターの仕事と趣味のマラソンが続けられるよう健康に気を付けていこうと思っています。

今年も、みんなの“元気な笑顔”に会えますように！



働けることへの感謝

川端 惟史 (中)

当世流行の山村生活に憧れたわけではありませんが、六年前に京都市内からここ「京丹波」の地に「終の栖^{すまが}」を移しました。環境面の大きな変化に果して旨く地域に溶け込めるかどうか一抹の不安は拭えませんでした。「郷に入れば郷に従え」に倣ってきたことで今は全くの杞憂です。還暦以降も何がしかの仕事だけは続けたいという労働意欲は常にありましたから「京丹波町」発足と同時に何ら躊躇することなく即入会手続を済ませました。今は月に十日程の適度な就業日数で「運動公園」を主に他、夏場限定で「カヌー」や「プール」といった

地域により密着したスポーツ施設でユーザーの要望に応えると共に自己研鑽にも努めております。培ってきた経験や技能がその中で活かされる機会もあり、仕事への張りにもつながります。七十の齡^{よひ}を過ぎても尚業務に励み又、余暇を「生涯学習」に向ける時間があることにも感謝しています。脳は使えば使うほど活性化しますから何事にも挑戦する気力は持ち続けたいものです。

発足した「カラオケサークル」も好評とか。まだまだ地域に仲間の少ない私ですからぜひ誘って下さい。



介護の毎日で思うこと

竹村 加代子 (本庄)

シルバーの会員になって四年になります。

長年に渡って自営業をしていましたけれど、五年前に主人が病気になり入退院の繰り返しでした。働きにも行けなくて主人の介護の毎日でしたが、少しでも近くで働く所がないかと思っていたところ、診療所の清掃作業を紹介していただきました。家もすぐ近くです。主人の介護をしながら毎日頑張っております。これからも元気で体力の続く限り皆様にささえられていただきながら前向きに頑張っていきたいと思っております。



縁を生かしたシルバーの仕事

田代 良孝 (上野)

今想えば、旧丹波町シルバー人材センター設立総会に出席をして、お世話に成りました事が縁で、十年が過ぎました。早いものですね。歳を重ねる毎に、楽しみが一つ一つと増え、ゴルフ場でキャディバッグの積み込み。打球練習場の球回収、ボール洗浄、乾燥、黒豆の選別、計量、袋詰め、或る時は三ノ宮東城の発掘作業に関わった人たちを知り、あれこれと仰っていただき、支えてもらった事、この機会にセンターの皆様、及び会員の皆様に対し、深

い感謝を申し上げます。今後ともお引立て、ご鞭撻の程お願い致します。

難しい最近の時代に順調な収支バランスを継続され、又適正に人事を指導、仕事を宛がって頂くことの有難さを痛感しております。

これからも、お互いの人の振りを見て覚え、一步を踏み出し、学ぶ心を一層磨き、受けた仕事を大切にしていきたいと思っております。でも心と身体の健康があつてのこと。



定年退職後の生き甲斐

平田 順一 (大朴)

私が、会員になったきっかけは、友人が勤務している京丹波町病院で警備員の仕事をしてみないか？との誘いでした。丁度、会社を定年退職したばかりで、次の仕事を考えていた矢先の誘いだったので快く引き受けたところ、それには、シルバー人材センターに登録して下さい。とのことで入会したのが最初でした。今年で五年目になりますが、病院での仕事は、休診日の受付窓口で急患で来られた

方の応対と入院患者のご家族やお見舞いに来られた方に入口で記入帳に入退時の時間と名前を書いて頂くのが主な仕事です。もうお一人同じく会員の竹内さんと二人三脚で頑張っています。又、昨年は、三ノ宮東城跡の発掘作業に携わり、多くの会員の皆様と知り合うことができ、毎日が楽しく仕事をさせていただきました。今後とも、健康に留意して「患者様に満足して頂く」をモットーに頑張っていこうと思います。



スローライフを目指して

室 忠志 (質美)

自宅で野菜作りや花の世話がで、自分の趣味を活かしたボランティア活動も続けられ、ワークシェアリング的な働き方もできるということで京丹波町のシルバー人材センターに参加させていただきました。仕事のなかで昨夏の猛暑の時にはさすがにまいりましたが、みなさんと一緒に働いていることで気持ちも楽になり、続けることができました。なによりも驚いたのは

みなさん、実際の年齢よりも気持ちの若い人が多いことで、同じ趣味の人たちがサークル活動もされております。人生を楽しむことの上質な諸先輩方も多く、教えられることも多い毎日です。裏方でお世話になっている方々に感謝しながら、気持ちに余裕をもって続けていきたいと思っております。